

(社) 日本コンクリート工学会四国支部
第5回「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」議事録

1. 日 時：平成28年9月13日（火）13：00～16：55
2. 場 所：徳島大学工学部建設棟5F A508
3. 出席者：渡辺委員長，朝倉，石井，小原，河合，近藤，橋本，林，原田，堀井，水口，横田，北川（いの町・オブザーバー），中山（山田代理）
（敬称略，順不同）以上 14名
4. 配布資料：
 - 5-1 JCI 四国支部「四国のコンクリート構造物のインフラドックの実現に向けた調査研究委員会」平成28年度 第2回（第5回）委員会 議事次第
 - 5-2 (社) 日本コンクリート工学会四国支部 第4回「四国のコンクリート構造物のインフラドックの実現に向けた調査研究委員会」議事録（案）
 - 5-3 道路メンテナンス年報の概要
 - 5-4 コンクリート診断士の活動促進について
 - 5-5 管理者WG についての報告書の方向性
 - 5-6 技術者WG 報告書現行の構成案
 - 5-7 インフラの維持管理における技術紹介
 - 5-8 地方におけるインフラドックシナリオの提言
5. 議 事：
 - (1) 委員長挨拶
渡辺委員長から，第5回委員会開催にあたっての挨拶があった。
 - (2) 委員の自己紹介
北川氏（いの町）と中山氏（徳島大学大学院）がオブザーバーとして参加し，各々より挨拶があった。
 - (3) 前回議事録の確認
渡辺委員長より，前回議事録（案）が通読され了承された。
 - (4) 話題提供1「道路メンテナンス年報の概要」（渡辺委員長）
渡辺委員長より，資料5-7に基づき説明があった。
 - (5) 話題提供2「コンクリート診断士の活動促進について」（近藤委員）
近藤委員より，資料5-4に基づき報告書の構成案について説明があった。コンクリート診断士制度，資格者数の推移，コンクリート診断士会の活動，課題と今後の展望についてまとめるとの方針が示された。
 - (6) 話題提供3「管理者WG についての報告書の方向性」（林委員）
林委員より，資料5-5に基づき報告書の構成について説明があった。四国地区のインフラの状況についての現状，行政による施策の現状，市町村の取り組み事例の紹介についてまとめるとの方針が示された。
 - (7) 話題提供4「技術者教育WG 報告書原稿の構成案」（河合委員）
河合委員より，資料5-6に基づき報告書の構成案の説明があった。OJT や学協会の講習会の状況，学校教育，国土交通省の取り組み，ME 講座，技術者の社会的地位向上等についてまとめる方針が示された。
 - (8) 話題提供5「インフラの維持管理における技術紹介」（塚越委員）
渡辺委員長より，資料5-7に基づき報告書の構成案について説明があった。モニタリング，センシング，可視化等に関する先端技術や，部材の劣化と構造性能との関係性等についてまとめる方針が示された。
 - (9) 話題提供6「地方におけるインフラドックシナリオの提言」（岡崎委員）
渡辺委員長より，資料5-8に基づき報告書の構成案について説明があった。各産業におけるインフラの維持管理の整理，インフラドックのコンセプトの再整理，平時におけるインフラドックの効率化の提案，有事におけるインフラドックの現状と問題点・解決方法についてまとめるとの方針が示された。
 - (10) フリーディスカッション
報告書の締め切りや方向性についての議論があった。

報告者：山田
以 上